

聖ピエール カトリック中等学校
サンウェ行政区 アバニンズン郡 ベナン共和国

聖ピエールカトリック中等学校は、ズー県南部に位置するアバニンズン郡に属するサンウェ行政区のレゴ地区に位置しています。現地へは、コトヌーから北に向かう主要幹線道路を通り、ゴドメー、カラヴィ、アラダを通過し、ウエボまで進みます。ウエボでトッフォ方面の道路へ曲がり、ラロまで進みます。ラロの手前で町を避ける迂回路があります。迂回路の突き当りを右に曲がると、アバニンズンへ直行する新しい道路に出ます。アバニンズンに到着する直前、道路の左側にサンウェ公立中学校が見えますが、そのまま通り過ぎます。2つ目の交差点には、右手にサンウェ・レゴ公立小学校へと続く道があります。この交差点も通過した後、最初の私道に入ると、カトリック学校の敷地にたどり着きます。

カトリック学校の敷地内には、中等学校と小学校が併設されています。聖ピエールのカトリック学校は、1940年頃にフランス人宣教師によって設立されました。設立当初は、国内のあらゆる層の子供たちに無償で教育を提供していました。1960年のダホメ国独立後、1972年にマシュー・ケレクによるクーデターが発生し、国はマルクス・レーニン主義体制に移行しました。この時期に教会は資産を没収され、聖ピエール学校の運営も政府によって引き継がれました。1990年に多党制民主主義が導入されたのに伴い、学校はカトリック教会に返還され、2000年に再び運営を開始しました。当初は以前と同様に学校は無料でしたが、フランスからの補助金が削減されると、学校側は比較的裕福な家庭から学費を徴収せざるを得なくなりました。現在の学費徴収システムは、裕福な家庭が支払う学費の一部が、貧しい家庭の子供たちの学費を共同で負担する仕組みになっています。

2024 年、私たちの協会は、この敷地内にある小学校で未完成だった校舎の建設を完了させました。これにより、小学校の子供たちは恵まれた学習環境を得ることができました。

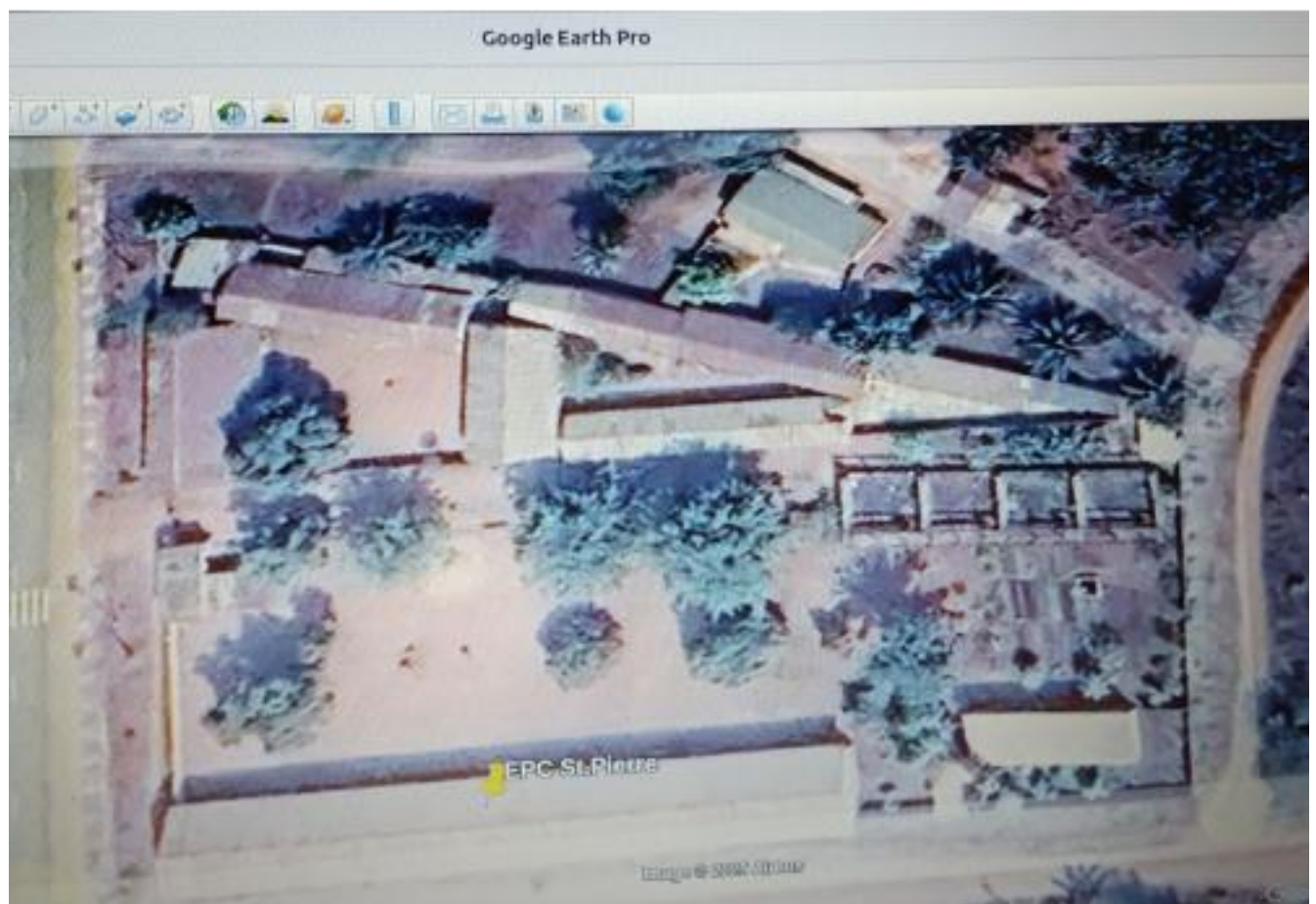
それを見た中等学校の生徒たちが、古くなった教室の改修を嘆願しに来ました（衛星写真で、黄色いピンでマークされた建物です）。この願いは校長先生からも改めて強く要請されました。そこで、学校の後援者であるオトマー・ブッシュマン氏が改修資金の調達に尽力しました。そして幸運にも、マインツ司教区の世界教会財団（Stiftung Weltkirche）が彼の要請を前向きに承認しました。

計画されている改修措置：

No. 項目 費用（ユーロ）

1. 壁の増築と妻壁（切妻）の改修 3,600 ユーロ
2. ベランダの新設 6,000 ユーロ
3. 電気設備の更新 4,500 ユーロ
4. 窓の交換（33 箇所） 2,500 ユーロ
5. 屋根の葺き替え（無石綿エターニット） 11,850 ユーロ
6. 床の補修（6 教室、1 事務室） 4,050 ユーロ
7. 外壁および内装の塗装 4,500 ユーロ
8. 予備費（不測の事態対応） 2,500 ユーロ
9. 現場監督費 1,000 ユーロ

総額 40,500 ユーロ



Google Earth の航空写真